

「霞ケ浦 どうぶつとみんなのいえ」2024年7月31日グランドオープン



©高橋一平建築事務所

行方市および霞ケ浦ふれあいランド株式会社は、2024年7月31日に「霞ケ浦 どうぶつとみんなのいえ」をオープンいたします。「霞ケ浦 どうぶつとみんなのいえ」のオープンを機に、周辺エリアを含めた長期的なリニューアルを進めてまいります。行方市全体にもぜひご注目ください。

*今般の猛暑等の影響により、一部の動物の体調等を考慮した結果、安全に当施設へ搬入することが困難となったため、展示の開始時期を秋以降へ延期することとなりました。展示開始時期については、決定次第「霞ケ浦 どうぶつとみんなのいえ」公式ホームページ等でご案内させていただきます。

*また、工事の遅延により施設内の一部に立ち入れない箇所がございます。

概要

名称：霞ケ浦 どうぶつとみんなのいえ

開園日：7月31日（水）

住所：茨城県行方市玉造甲 1234

事業者：霞ケ浦ふれあいランド株式会社

代表企業：株式会社 MOFF

園長：キリンおよび笹尾昌（株式会社 MOFF）

設計：高橋一平建築事務所

施工：株式会社オカベ

メインビジュアル：長井朋子（協力：小山登美夫ギャラリー）

主要用途：動植物との触れ合い、教育、展示、市民活動 ほか 各種アクティビティを想定した交流拠点

出会う動植物（7月31日時点）：アルパカ、うさぎ、カピバラ、ペンギン、リクガメ、羊、やぎ、ナマケモノ、ポニー、インコ、ボールパイソン、野鳥、ほか、霞ケ浦や行方市の植物

スペース：庭園、図書エリア、動物専用スペース 等

上記以外にも、教育プログラム、ワークショップなどを予定しています。

ウェブサイト：<https://doubutsutominna.jp/>

名称：いえのまわり（園外施設）

アクティビティ：サイクリング、ピクニック、キャンプ、BBQ、地場産物の買い物

ウェブサイト：<https://doubutsutominna.jp/neighborhood>

東京からのアクセス：自動車＝都心から約2時間30分／公共交通＝JR常磐線土浦駅からバスで約50分

事業詳細



事業名：霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業

事業目的：平成4年の完成から27年を経過し老朽化が進んでいた水の科学館の改修整備、霞ヶ浦ふれあいランド全体及び道の駅関連施設（道の駅たまつくり、観光物産館こいこい）の維持管理・運営について、官民連携事業として民間資金・ノウハウを活用し実施することで、施設全体の観光拠点としての魅力向上、地域活性化・賑わいづくり、市民サービスの向上を図ることを目的とするもの。

事業主体：行方市、霞ヶ浦ふれあいランド株式会社 *PFI 事業

事業概要：観光交流と地域住民のための場としての機能に加え、水辺という立地環境を生かした体験や学びもでき、動物とふれあうことができる施設です。建築家や現代美術作家を起用するなど公民館でも、動物園でもない、これまでにはみられなかった新しい場所です。

事業経緯：

令和2年 3月	霞ヶ浦ふれあいランド再生基本計画策定
令和2年 4月	事業者募集
令和2年 7月	事業者選定
令和2年 9月	事業契約締結
〃	指定管理者の指定
令和2年12月	水の科学館（霞ヶ浦資料館）取得
令和3年 4月	観光物産館こいこい、虹の塔の維持管理・運営開始
令和4年 4月	水の科学館改修工事 着工
令和6年 7月	水の科学館改修工事 竣工
令和6年 7月31日	霞ヶ浦 どうぶつとみんなのいえ正式開園

事業費用：1,895,300,000円
施設面積：4968.30m²
敷地面積：21756.8m²
建築面積：4025.28m²
歩廊：全長404m
構造：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）2階建
展示動物数：約19種80頭（正式開園時点）
設計監理：高橋一平建築事務所

過去のプレスリリース、建築写真はこちら

<https://drive.google.com/drive/folders/1wJ3ASOoCj9GunmerKshA0IOIjXFvTfLZ?usp=sharing>

※完成後の建築写真は8月以降のご提供を予定しています。



<施設全体に関するお問い合わせ>

霞ヶ浦ふれあいランド株式会社

広報担当 小櫻、佐藤、松島

連絡先 d.m.toiawase@moff-moff.jp

<広報に関するお問い合わせ>

株式会社いろいろ

市川、熊野 press@iroiroiroiro.jp